



一般社団法人口カップジュニア・ジャパン 2023年度第3回理事会議事録

1. 日 時 : 2023年8月19日（土）10：04～12：10

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル6階会議室 ZoomにてWeb会議

3. 出席者

(1) 本人出席者 11名

大橋健、水野勝教、今井俊二、中島晃芳、野村泰朗、島谷太、森重智年
松山森仁、政岡恵太朗、瀧本英智、田中宏明(監事)

(2) 欠席者 無し

(3) 事務局 3名 前田正久(事務局長)、浅沼まり、休場万喜

4. 議 事

1. 2023名古屋大会の総括
2. 2024名古屋大会について
3. 名古屋大会以降の会場について
4. 定款、運営規程の見直しについて
5. ブロック長連絡会議について
6. その他

5. 資 料

- 資料1 ロボカップジュニア参加にあたって
資料2 レスキュー運営2024 参加チーム

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本理事会は、定款第33条に規定する定足数に達し、理事会が成立していることを報告した。

(2) 2023名古屋大会の総括

①レスキュー担当の森重理事より、資料2に基づき、前年度と比べコロナ明けの影響か全国の参加数が増加、NLのMaze EntryやWLのRescue Simulationの新リーグを設け、参加チーム拡大を模索したとの説明がなされた。また、海外からは2チームのエントリーがあった。現在、若手技術委員の受け入れ態勢の整備を進めており、レスキュー技術委員長は埼玉の太田氏に交代、Simulationは引き続き藤井氏に継続頂くこととなったとの報告がなされた。これに対し水野専務理事より、技術委員の選定は、理事会での議決が必要である旨、説明がなされた。森重理事より、ルールに従い、技術委員選定を行うとの返答がなされた。

②OnStage担当の中島理事より、担当理事および技術委員長を刷新して臨んだ大会であったため、至らぬ点もあったかと思う。人員不足もありスタッフに負担過多があったのは反省点であるとの報告がなされた。また、OnStageのNIPPONリーグで1人チームの参加を許可するべきか、技術委員会で議論がなされており、賛否両論があるとの報告がなされた。水野専務理事より、参加チームは減少傾向にあり、NLの中で1人チームを認めることで参加者が増加するのであれば、良いのではないか。また、中島理事から、他のリーグと比べ、指導や準備の仕方が分からないとの感想を聞く。森重理事より、広島ブロックでも興味がある人はいるが、どうやって指導したらいいか分からないという意見を聞いたことがあり、相談先があればいいのではとの意見がなされた。中島理事より、OnStageは自分たちで課題を決め、多くの人の前で発表するという特性もあり、指導が難しいとの意見がなされた。これに対し水野専務理事より、NLでは国内ルールとして、事前に今年の課題を設定してはどうかとの意見がなされた。中島理事より、合唱コンクールのように課題と自由課題のどちらかを選ぶという方法もあるとの意見がなされた。松山理事より、1人チーム導入に賛成で、過去には1人チームで世界大会に出場した例もあり、共同作業は失われるが競技としては成立するのではないか。競技の特性上、スタートしづらい点もあり、門戸を広げるのはいいのではないか。1人チーム同士でWLに参加することも可能ではないかとの意見がなされた。これらの意見に対して中

島理事より、早急に議論するとの回答がなされた。

③サッカー担当松山理事より、大きな変更点はNLとWLのフィールドがWL・Bコートに統一されたことで、準備の負担と試合スケジュールが多少軽減された。前回までは16~17コートを準備して約110チームの試合を実施したが、今回は11コートで同じチーム数の対戦が可能であった。しかし、全国的にはAコートしかないブロックもあり、当面は併用するが、ジャパンオープンではBコートで統一することで進めていくとの報告がなされた。また、大会当日はシステムトラブルがあり、試合数を削減する結果となった。事前の予想がついていなかったこと、規模に対して人員が不足していたこともあり、今後は技術委員の体制強化が必須である。政岡理事に協力頂いてシステムを改善し、スケジュールどおりに競技が実施できるようにしたい。ルールについては、2024年ドラフトがすでに公開されており、大きな変更点はないが、エントリールールに多少の変更がある。また、NLの名称変更を含め、今後技術委員会内で検討するとの説明がなされた。水野専務理事より、大会直後には試合数削減に対する問合せがあったが、その後はどうかとの質問がなされた。松山理事より、HPで説明後は技術委員会には問合せはなく、事務局でも、問い合わせはないとの回答がなされた。

中島理事より、技術委員の選任について、理事会の承認はメール審議が可能かとの問い合わせに対し、水野専務理事より、可能との回答がなされた。なお、技術委員の定義について、ブロックによって異なるところがあるのではないか。東海ブロックではブロック大会を運営するスタッフを指すが、一方でブロックに属さない技術委員を増やしたいという声があり、容認するためのルールがないとの意見が総会でもあったので、運営規程に明文化する必要があるのではないかとの意見がなされた。大橋代表理事より、RCJJは日本委員会から独立する際、ブロック、ノードを中心に運営が行われ、OB・OGの皆さんはどこかのブロックに属していたが、引っ越し等の理由でブロックから離れることがあり、ブロックに所属しない人がいるのではないか。運営規程と実際の運営には乖離があるため、見直しが必要であるとの意見がなされた。

大橋代表理事より、2024年ジャパンオープンについて、別会場も検討したが遮光等の問題もあり、2023年と同じ会場での開催を検討している。また、コロナ対策の予算は多少削減できるものの、全体予算と会場規模は、2023年と同様で進めていく予定であるが、要望等はあるかとの問い合わせがなされた。松山理事より、ポートメッセの会場は広かったため、マイクとスピーカで呼び出しを行っても、聞こえないとのクレームがあった。大橋代表理事より、音響は難しい問題で、来年は一般来場者を入れるとさらに難しくなるため、音響以外の伝達手段を検討する必要があるのではないかとの意見がなされた。松山理事より、メッセージアプリを導入してはどうかとの意見もあるが、小学生の参加者もいるためスマホを所持していない場合もあり、難しい。けいはんな大会では、スタッフ向けにslackを使用したが、うまく機能しなかった。スタッフ個人が提供してくれているトランシーバーが最も有効であったため、可能であれば予算を付けて欲しいとの要望がなされた。また、メンターへの情報共有が無いとのクレームが多くあったが、情報伝達は選手のみに行っており、メンターへの情報共有は行っていなかった。メンターからの質問に対し、スタッフが個々に対応したため、違う情報が伝達されることがあった。メンターに対しては、メッセージアプリ等を活用して情報の共有を検討したいとの説明がなされた。森重理事より、どういったクレームがあったのかとの問い合わせがなされた。どこまで、いつ会場に入れるのかと言ったHPに掲載されている情報の確認や、試合数削減に対して説明を求める質問があったとの回答がなされた。中島理事より、ルール上、メンターには発言権はなく、競技への干渉に当たるのではないかとの問い合わせがなされた。これに対し松山理事より、競技に対し意見は出せないが、情報は共有すべきだと考えている。また、水野専務理事より、事前のアナウンスと違った進行が行われる場合は、メンターに対しても情報共有すべきとの意見がなされた。松山理事より、チームからスタッフとして入ったメンターはとても好意的で、メンタースタッフなくして大会の運営は成り立たなかつたので、今後も各チームから1名はスタッフとして参加してもらうことを推進していきたいとの意見がなされた。

(3) 2024年名古屋大会について

①大橋代表理事より、2024年ジャパンオープン会場はポートメッセ、予算規模もほぼ同じだが、実行委員の数を縮小して欲しいとの要望を受けたため、運営に参加する理事やスタッフは、オブザーバーとしてZoomで会議に参加頂きたいとの説明がなされた。また、2023年大会は交流会が実施できなかつたので、2024年は交流会を開催したいとの意見がなされた。

- ・水野専務理事より、名古屋市からの要望でスポンサーをお願いできる企業があれば、ご紹介頂きたいとの発言がなされ、松山理事よりスポンサー要項を早めに出して欲しいとの要望があった。
- ・中島理事より、一般来場者向けにロボカップとは何かを説明するパネルを作成してはどうかと

の意見がなされた。松山理事より、ツアーハンズは好評だったと聞いているので、そこでロボカップの説明ができるのではとの意見に対し、人員不足のため対応スタッフが少なく大変であったとの感想がなされた。

・松山理事より、ポスター展示について意見を求めた。中島理事より、オステージはポスターの展示場所からステージが遠かったため、子供達はあまり見に行かなかった。リーグ毎に競技場所に近い所でポスター展示して欲しいとの要望がなされた。大橋代表理事より、例年は壁に張り出していたので、テーブルに置くのはどうかと懸念していたが、壁を破損する、落ちるといった心配もなく、見やすい展示であったと思う。展示場所がホールの奥にあったため、次回は分散展示も検討してはどうか。また、Web上で閲覧することも可能であるが、現物は手書き等工夫しているチームもあり良かったとの感想が述べられた。

(4) 名古屋大会以降の会場について

①大橋代表理事より、2025年ジャパンオープン開催地について、検討したいという自治体はあるが、本格的な検討までには至っていない。コロナが明けたとは言え、ブロック・ノードの活動もコロナ前の状態には回復しておらず、また自然災害等で新規自治体の参加も難しいのではと思う。名古屋市は当初3年連続の開催を計画していたが、コロナのため2回中止したこともあり、2024年大会はRCJJの要望を受け、開催を承諾頂いた経緯がある。2025年大会についてもRCJJからの要望があれば検討頂けることなので、名古屋市に2025年の開催をお願いしたいとの提案がなされ、満場一致で承認がなされた。

(5) 定款・運営規程見直しについて

①大橋代表理事より、総会でもご指摘があった通り、現行の定款では運営規程との整合性がとれていない点があり、修正する必要がある。定款を変更するには総会の承認と登記変更も必要であることから、まずは、運営規程を見直してはどうかとの意見がなされた。瀧本理事より、法人法と定款は齟齬がないように慎重に修正をする必要があり、司法書士と相談しながら進めるため、次の総会までにすべてを修正する必要はないが、進捗を示す必要はあるとの意見がなされた。前田事務局長より、役員、所在地変更等の法人法により必ず変更の届けが必要な絶対的事項と役員報酬や任意的な事項の相対的事項があり、総会で指摘を受けた事項は相対的な事項であり、直ちに再登記しなければならない事項ではないとの説明がなされた。大橋代表理事より、定款の変更については、来年の総会で案を議論し、再来年の理事改選の際に登記が必要になるので、その際に修正してはどうかとの提案がなされた。水野専務理事より、運営規程については、10月までに案を作成し理事会に諮り、3月の総会に出したいとの要望がなされた。また、大橋代表理事、水野専務理事、瀧本理事、各競技担当理事の松山理事、森重理事、中島理事が中心となって運営規程の修正案を作成し、理事会に諮ることとなった。

(6) ブロック長連絡会議について

①中島理事より、各技術委員長にブロック長意見交換会に参加頂いてはどうか。また、オブザーバーとして運営規程の変更にも参加頂いてはどうかとの提案がなされた。これに対し大橋代表理事より、来年度からは名称を変更し、技術委員長も参加頂けるよう案内を出してはどうかとの提案がなされた。また、午後からのブロック長会議には、連絡がつく技術委員長はオブザーバーとして参加頂いて構わないと回答がなされた。

・水野専務理事より、連絡がまったくとれないブロックがあり、該当ブロックの廃止を検討してはどうかとの提案がなされた。中島理事より、参加したい時の問合せに困るのではないか。近隣ブロックと統合してはどうかとの提案がなされた。事務局より、福島・栃木ブロック、北信越ブロック、島根ブロックとは連絡を取るのが困難であるとの報告がなされた。松山理事より、北信越に関しては、2023年大会にも参加しており、活動実績があるとの意見がなされた。大橋代表理事より、午後のブロック長会議で広く意見を聞き、継続審議することとなった。

(7) その他

①森重理事より、資料1に基づき、ロボカップジュニアの活動に参加する選手、保護者、メンター向け資料について、意見を求めた。中島理事より、文章だけでビジュアルが無いと読まないのではないかとの意見がなされた。野村理事より、運営規程と毎年の競技運営指針がすでにあり、この文章が第3の規定と位置付けられることを懸念している。また、モラルに関することが大半のよ



うに思われるとの意見がなされた。森重理事より、ブロックで新しく参加しようとする人に対し、参考資料として活用頂ければと思い作成した。中島理事より、指導方法はメンターによって様々であり、このような説明文があれば、トラブル回避のためにもブロックは助かるのではないかとの意見がなされた。野村理事より、問題になった時には対話が必要ではないか。瀧本理事より、全員に統一の説明をするのは困難であり、自身の意見を主張する人には対話することができるが、しない人もいるのではないか。中島理事より、ノード・ブロック大会では、事前に大会での注意事項について、全体にアナウンスがあるので、ジャパンオープンでも開会式で案内してはどうか。野村理事より、どういった態度で活動に臨むべきかを明文化するべきではない、説明にある「楽しもう」は個人の自由であるとの意見がなされた。この件について、理事会としては、新しく参加する方に対して見て頂くのはいいが、取扱いには注意をし、配付しないこととした。

・政岡理事より、世界大会の報告については、現在情報を収集中のため後日報告するとの説明がなされた。

・水野専務理事より、RCJJが契約しているZoomがまもなく1年となるため、契約更新を進めたとの確認がなされ、特に反対もなく更新することとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2023年8月19日

議長 大橋 健

理事 今井 俊二

同 島谷 太

同 中島 晃芳

同 野村 泰朗

同 水野 勝教

同 松山 森仁

同 森重 智年

同 政岡 恵太朗

同 瀧本 英智

監事 田中 宏明

